

昭薬同窓会のあゆみ

昭薬同窓会誕生から現在まで



^{っげ}黄楊の木と^{くす}樟の木の記念樹が繁る本館ロータリーから、記念講堂をのぞむ。

町田キャンパスの本館ロータリーには、滝が流れている場所がある。

ここには、黄楊の木と樟の木が青々と繁っている。

この黄楊の木は、目黒校舎が戦災をうけた際(約55年前)焼けずにすんだ運の強い木である。世田谷校舎では実習棟前の中庭で育てられていた。

町田キャンパスが開校の際、この場所に移されて勢い良く繁っている。

また、町田キャンパスの開校記念樹として、ここに高さ15m程の樟の木が移植された。共に本学のシンボルの樹として大事に保植されている。

そして、ここから見上げると記念講堂がのぞまれる。

目 次

I. 昭薬同窓会40周年によせて 昭薬同窓会会長 木嶋 敬二	2
II. 昭薬同窓会40周年によせて	
昭薬同窓会初代会長 松永田鶴江	3
学校法人昭和薬科大学理事長 塩島 憲治	4
昭和薬科大学学長 佐野 武弘	4
III. 昭薬同窓会総会・代議員会のあゆみ	5
IV. 昭薬同窓会役員名簿	12
V. 卒業記念樹一覧	14
VI. 卒業生評議員名簿	15
VII. 会報発行の歴史	16
VIII. 支部の歴史	17
IX. 都道府県別会員数	18
X. 学術講演会・卒業教育講座・公開教育講座一覧表	19
XI. 写真でみる40年誌	23
XII. 昭薬同窓会名簿沿革史	25
XIII. 編集後記	26



大学のロゴマークは、昭和のSと薬科大学のYの2文字をベースに未来の限りない発展とキャンパス移転時のコンセプト『独立と融和』をダイナミックに表現し、四つの弧は学校法人を構成する役員、職員、卒業生、学生を意味し、全体で輪（和）になる。

昭薬同窓会のロゴマークは形はそのまま、色を専門学校の校花りんどうの赤紫色にした。（1998年6月に決まる）

昭薬同窓会40周年記念によせて



昭薬同窓会会長 木嶋 敬二

(D-6、昭和33年卒)

同窓会の歴史は昭和12年に創立された「薬友会」が発展的に解消され、昭和27年「昭薬会」(影山とよ会長)が設立され、その後昭和32年大学当局の示唆によって「昭和薬科大学同窓会」(小林健会長)が発足しました。更に「昭薬会」および「昭和薬科大学同窓会」が昭和35年に新たに「昭薬同窓会」(松永田鶴江会長)が発足しました。今回の記念行事はこの「昭薬同窓会」として発足して本年が40周年ということになります。

さて、本年は昭薬同窓会40周年であると同時に昭和薬科大学創立70周年に当たります。

大学関係当局の御好意により大学70周年と同窓会40周年を共催の形で記念行事を開催することになりました。

大学70周年の創立記念日は昭和女子薬学園が創設された昭和5年10月15日が創立記念日にあたります。同年11月5日「昭和女子薬学専門学校」が認可され、これが開校記念日となります。

「昭和女子薬学専門学校」への昇格は東京女子薬学校の生徒有志と教職員が協力し遂行され、その様子は昭薬同窓会35周年記念号「母校のあゆみ」にも記述されております。その昇格を思う献身的な努力は何度読んでもただただ敬服するのみであります。そこに培かれた健学の精神と卒業生の強い母校愛は後の昭和薬科大学の発展に多大なる好影響を与えることとなります。

昭和35年以前の同窓会活動力については、前述の「母校のあゆみ」に記述されていますのでここでは省略し、それ以降について述べることにいたします。

前述のように「昭薬同窓会」は初代の松永田鶴江会長から初まり現在12代ということになります。

その間、会則を整備し、代議員制が設けられま

した。各支部及びクラスから各1名の代議員が選出され、現在165名(52支部、113クラス)で構成されております。代議員会(本年度27回)及び会員総会(本年度42回)で議案の審議を行い、質疑議決、報告を行っています。平成12年3月15日現在の卒業生総数14,397人、大学院修了生435人となっております。

同窓会の活動も多岐に渡っておりますが、特に卒後教育に力を入れ、大学と共催で年3回の公開講座を開催しております。又各地域での研修会も推進し、日本薬剤師会学術大会にも本部研修の成果を発表しております。

大学への評議員の推薦も重要な事項であり、この他同窓会名簿、会報発行(現在78号)など定常的な活動も積極的に行って来ました。

最近では会費の納入率をあげる目的で、会員の便利さも考え、自動引落しの実施や卒業生のネットワークづくりに力を入れております。

近年、医薬分業にかかわる社会情勢の変化に伴い、同窓会活動も変革の時期を迎えております。大学においても平成10年度より医療薬学専攻修士課程の開設を行うなど医療薬学への対応が進められております。同窓会においてもインターネットによる情報交換の推進など情報の共有化に向けてITを活用した方向の転換を模索中であり、その他在校生とのコミュニケーションをはかるための活動なども積極的にしております。

その他多面的に同窓会事業を展開しておりますが何といても同窓会の役割は大学の発展に寄与することがあります。21世紀に向って昭和薬科大学がますます発展するため14,000人余りの卒業生全員の英知を集めてその発展に協力しようではありませんか。

最後になりましたが40周年記念行事の実行委員長伊藤健次氏(D-8)に多大の御協力を得ました。

「昭薬同窓会創立40周年記念に寄せて」



初代会長 **松永 田鶴江**

(専門12回、昭和17年卒)

40年前の混沌たる同窓会が軌道に乗り大学と同窓会の皆様による御協力の御蔭で現在、実に立派な同窓会に成長させて頂きました事は何にも代え難く大変嬉しく共に喜び合いたいと存じます。又母校も昭和5年創立の当初より幾多の困難を乗り越えて無事、70周年を迎える事が出来まして誠に御芽出度く御同慶の至りでございます。創立の歴史に就いては35周年記念号として同窓会の編集による「母校のあゆみ」の小冊子に詳細な記述をされておりまして、又私も先きの会報に「同窓会のあゆみ」と題して総てを語り盡くしたと思っておりましたが御協力下さいました多くの方々の御努力と心情は語り盡くせるものでなかった事をしみじみと省りみております。

それにしても、昭和薬科大学は幸運に恵まれて広大な敷地の緑溢れる自然の中素晴らしいキャン

パスを建てる事が出来ましたし、同時に広い同窓会室も確保され宿泊も可能で今は何不自由なく運営されている状態です。現在の同窓会も一致協力して頼もしく、活躍をして下さっておりましてホームページも開設され若い力をフルに発揮して頂き度く御願い申し上げます。

母校と同窓会相互の協力的な存在の意義は大きく卒業生の母校を尊重する意識は健全であると思えます。卒業生の社会での活躍も多く聞く様になりました。新しく御就任なさいました塩島理事長、佐野学長も、それを喜ばれ御期待なさっている事と存じます。

終りに昭和薬科大学、並びに昭薬同窓会の限りなき繁栄を祈り40周年に寄せる御祝いの言葉とさせて頂きます。



会報創刊号 (昭和35年7月1日)の表紙



学校法人昭和薬科大学理事長

塩島 憲治

(D-8、昭和35年卒)

昭葉同窓会創設四十周年誠におめでとうございます。昭葉同窓会は昭和35年にその産声を上げ、その間、諸先輩のたゆまぬご努力の結果、現在の発展を遂げられました。各支部での卒業生の活躍には日毎に高まりを感じており誠に喜ばしい限りであります。

昭和薬科大学は本年創立70周年を迎えます。母校は昭葉同窓会と連携し恰も車の車輪のように健全な経営を努力しております。同窓会からは評議員として有能な人材を御推薦いただき、貴重なご意見を頂戴し民主的な運営にご尽力を戴いております。更に、近年、薬科大学の教育内容の変化に対応すべく、近郊の開局卒業生には実習生受け入れのお願いを致しております。本件は卒業生の枠にとらわれず、広く薬学教育、薬剤師教育の一端を担う広い見識でご理解戴きたいと存じます。

母校も町田に移転しはや十年余の月日が経過い

たしました。幸運にも入学生の質の向上に伴い国家試験合格率が漸次好転して参りました。この陰には、本年3月退官された同窓生出身の前学長新井武利教授の見事な決断、実行が開花したものであることを添えてご報告します。少子化、大学の危機が叫ばれる中、前途有為な人材を多く迎え入れる事が出来る様になり本学の将来は決して暗いものではないと確信しています。本学の教育理念は高度な職能を有する人材を育成する事に在り、この目的を逸脱せず社会要請に合致した教育の場たるように鋭意努力中であります。しかし、流行が移り気の様に社会の評価も流動する要素を持っています。やっとなり勝ち得た評価を保持、より高度に推進するための日夜の努力が肝要です。先年来募集をしております「昭和薬科大学70周年記念募金事業」はその一端であり、ご理解と御協力をお願いする次第です。

同窓生に連なる小職は本学の舵取りを任された栄誉と責任を痛感しつつ、同窓生皆様のご理解、ご支援を重ねてお願いするとともに益々のご発展をお祈りいたします。



昭和薬科大学学長

佐野 武弘

昭和薬科大学は、その前身である昭和女子薬学専門学校が、東京女子薬学校の生徒有志と教職員が協力して、女子の地位向上のために薬学校から薬学専門学校に昇格したことから始まった歴史を持っています。その設立に際しての建学精神が今でも本学の精神的な支えとなっており生きています。本学は常に学生と教職員が厚い信頼で結ばれ、そして同窓会の厚い支援によって発展した大学です。どんな時代になってもこの良き伝統は大切にしなければならないと思います。

近年、薬剤師が法的にも医療人として地位を獲得し、医薬分業が進むにつれて薬科大学の教育内容もそれにともない変革しました。本学では、多くの医療薬学科目の導入、また1ヶ月の薬局・病院実務実習の必修化などが実行に移されました。さらに、大学院に新たに医療薬学専攻の修士課程が設置されました。本課程では、大学における研究教育以外に6ヶ月の病院実務実習を行い医療現場で起るさまざまな問題に触れ、医療人としての

研究心や人間性を養うことを目的に教育が行われています。薬学分野におけるこれらの新しい教育は、日本においては始まったばかりであり、我々すべてが経験不足であることは否めません。しかし、医療現場との連携を強め、そこで起るさまざまな問題を我々も学生とともに勉強し、そして研究し、進歩することを心がければ医療薬学の教育システムを作り上げることができると信じています。

昭和薬科大学は優秀な学生に恵まれています。卒業生の就職先の評判もよいと聞いています。修士課程の学生の研究レベルが著しく向上しています。薬学6年制への移行を視野に入れ、これが薬学発展の好機と考え、そして昭和薬科大学もこの時代の流れに遅れをとらないよう毎日の努力を怠らないようにしなければならないと思います。豊かな環境と施設を持つ昭和薬科大学は、医療人として豊かな人間性を持つ薬剤師の養成の場としてこれ以上のものは求められないと思います。私たち教職員は、昭和薬科大学の持つこの特徴を生かす知恵と工夫、そして研究心をもって新しい教育に取り組めば、さらに素晴らしい大学へと発展できると信じています。

昭葉同窓会総会・代議員会のあゆみ

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
第1回総会	昭和35年5/8	大学講義室	100人	松永田鶴江	第1回昭葉祭5/5 第1回見学会9/15明治製菓川崎工場 会員名簿第1版発行、11/25送料共250円
第2回総会	昭和36年5/7	大学図書館	200人	松永田鶴江	第2回見学会5/10明治乳業豊島 チーズ工場 10月玉川女子寮竣工 情操教育の一環として希望者に生花と お茶を教える
第3回総会	昭和37年5/3	大学		松永田鶴江	評議員9名決まる
第4回総会	昭和38年5/1	産業健保会館		松永田鶴江	10/15昭和薬科大学創立35周年記念 大学講堂、体育館落成記念
第5回総会	昭和39年5/17	大学講堂		松永田鶴江	5/1会員名簿発行第2版発行500円 同窓会館設立が決まる。 募金総額3,000万円募集 会報運営費300円
第6回総会	昭和40年9/1	大学講堂	70人	松永田鶴江	同窓会館建設発起人N-3回～D-12 回生270人決まる。 建設委員長 松永田鶴江 大学に囲碁・将棋・華道の課外講座開講 大山名人、松田八段、勅使河原宗匠、 講師となる
第7回総会	昭和41年5/22	大学講堂		渡辺 タカ	白樺湖高山植物園山荘落成 4/1生物薬学科新設 11/14～18昭葉祭にて同窓会で即興裁判 行う
第8回臨時総会	昭和41年8/21	大学	45人	渡辺 タカ	会則改正 常任監事を増やす
第9回総会	昭和42年8/21	大学	60人		会館建設募金5,236,104円(沖縄からはドルで)
第10回総会	昭和43年5/19	大学	100人	渡辺 タカ	昭葉40周年記念式典10/15 3/15会員名簿第3版発行500円 昭和薬科大学40年史刊行 10/13昭葉祭に参加し薬学と違う分野

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
					で活躍している先輩と学生の対話を行う。 10/12長野県諏訪校舎落成
第11回総会	昭和44年5/18	大学		藤井 英子	
臨時総会	昭和44年9/14	大学講堂			昭薬会館建設について
第12回総会	昭和45年5/17	大学講堂		藤井 英子	衛生検査技師法改正
第13回総会	昭和46年5/16				3/15会員名簿第4版発行500円 同窓会費振替用紙を会報に同封する 10/15昭薬祭講演会開催「公害の考え方」
第14回定時総会	昭和47年5/21	大学		丸山 英雄	役員改選
第15回総会	昭和48年5/20	大学講堂			3月女子寮完成(弦巻) 10/15創立45周年記念式典挙行
第16回総会	昭和49年6/9	大学		藤原 隆	3月教養会館完成 会報運営費1000円となる 評議員選出される 4月昭薬科大学付属高校開校
第17回総会	昭和50年5/18	大学教養会館		金沢 輝栄	3/1会員名簿第5版発行1500円
第18回総会	昭和51年	大学講堂		金沢 輝栄	同窓会館建設募金3000万円達成
第19回総会	昭和52年5/29			金沢 輝栄	クラス会助成金5000円に決まる 同窓会会則の抜本的改正 常任幹事を19名より15名に 役員総会、会員総会、臨時総会を1日で行う(午後11時まで)
臨時総会	昭和52年12/4			小沢 博 (会長代行)	金沢輝栄会長辞任 評議員選出細則決まる 評議員選出1/25告示3/20開票 (投票形式2075投票) A 専門 岩本節子 根津とよ子 大野昌子 B 大学 大草源三 志賀公栄 永井昇 C 大学 笠間俊男 松永康男 新寄付行為による評議員選出は無効と いうことで白紙撤回 大学において選任された評議員は 高橋澄子 根津とよ子 田中美代 外池くに 林 良子 大野昌子

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
					永井 昇、北村 武彦 国家試験合格率38% 昭和52年10/13の昭葉祭に学友会の展示コンクールに協賛し、優良クラブに賞金を贈る
第20回総会	昭和53年6/4			根津とよ子	同窓会入会金20,000円を分割徴収から一括徴収に変更 同窓会専用電話開設 昭和54年3/1 会員名簿第6版発行 大学創立50周年記念として会費納入者に無料配布 支部会助成 会員1名につき200円及び祝金を助成
第21回総会	昭和54年5/20			根津とよ子	3/1 会員名簿第6版発行 会費納入者に無料配布
第22回総会	昭和55年5/18			根津とよ子	会則改正、評議員選出案継続となる
臨時会員総会	昭和55年11/16	大学		根津とよ子	56年度より同窓会費2,000円が決まる 10/15昭和薬科大学創立50周年記念 会則改正される 今までの役員総会(学年幹事、支部長、常任幹事で構成)が代議員に変わる。 会員総会に付議されていた報告、議案、役員の承認が代議員会で議決される。 支部、クラス代議員の選出、会長選出の呼びかけが行われる。 卒業生評議員候補者選挙規則審議流れる
第1回代議員会	昭和56年3/15	日本出版クラブ会館	79人		会則改正、評議員候補者選出細則一部修正承認 会長根津とよ子再任
	昭和56年4/18	大学グリーンホール	74人	根津とよ子	会則の一部修正と変更承認 会員数9027人
評議員選挙	昭和56年4/19		84人		評議員選出される
第2回代議員会 第23回総会	昭和56年5/24	大学教養会館	76人	根津とよ子	代議員会議事規定一部修正 会則追加を提案する予定だったが、定足数不足のため流会となる
第3回代議員会	昭和56年7/19	大学教養会館	76人	根津とよ子	第2回代議員会提案承認

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
第4回代議員会 第24回会員総会	昭和57年5/16	大学	75人	根津とよ子	役員紹介 支部数35 57年3月会員名簿第7版4000部発行 題字を書道家岸川晴峯氏、教職員名簿、 地区別人名索引、50音別索引がつく 大学広報との協力提携として120万円協 力金が助成される
臨時代議員会	昭和59年4/21 昭和59年4/22	損保会館4階	68人 75人	根津とよ子	会長根津とよ子再選 評議員第1次選考 第2次選考 新役員承認
第5回代議員会 第25回総会	昭和58年5/14 昭和58年5/15	後楽園会館 後楽園会館	79人 95人	根津とよ子	支部数35、単独支部26 連合支部4（北陸、近畿、四国、三州） 未結成 山形、鳥取、島根、岡山、佐賀、 熊本、長崎、 第1回学術講演会。 統一見解として会館建設は大学移転問題 が具体化した時点で大学当局と交渉する 58年5月の代議員会で会長任期終了で会 長を選出すべきが、執行部の不手際で代 議員会に付託もれになり、郵便投票で会 長選挙が行われた。 72/117人投票。
第6回代議員会 第26回会員総会	昭和59年5/19 昭和59年5/20	大学教室 大学教室	65人 82人	根津とよ子	新評議員紹介
第7回代議員会 第27回会員総会	昭和60年5/25 昭和60年5/26	青山青年会館 青山青年会館	74人 50人	根津とよ子	定時代議員会、総会6月開催案承認 会則規定諮問委員会設置 60年3月会員名簿第8版4000部発行 60年10/15昭葉祭実行委員会にプレー ヤーとアンプを贈る 昭和薬科大学付属沖縄高校落成祝 (61年3/25) に記念品を贈る 大学移転の説明会・見学会61年2/15 大学移転基本構想作成委員会に同窓会 グループとして参画 同窓会施設準備委員会を同窓会理事内 に組織
第8回代議員会 第28回会員総会	昭和61年6/7 昭和61年6/8	後楽園会館 後楽園会館	66人 50人	根津とよ子	総会終了後学術講演会

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
第9回臨時 代議員会	昭和62年4/18 昭和62年4/19	ホテル聚楽 ホテル聚楽	72人 76人	宮城 雅晴	評議員第1次選考委員会 代議員による2次選考 補欠者の登録数立候補不足のため、 次点者は選出しない 会長無投票当選 宮城雅晴
第10回代議員会 第29回会員総会	昭和62年6/20 昭和62年6/21	教育会館ホテル 教育会館ホテル	74人 50人	宮城 雅晴	「大学の現状として訴訟問題、鈴木前学長問題、町田新キャンパス建設状況等」について大学より説明会開催(昭和63年2/27) 9月「昭葉同窓会会報」特集号53号「母校の危機を憂う！」を発行 2年連続未開催の支部には助成金を支給しない 母校の町田キャンパス移転事業、募金事業に協力することを承認
第11回代議員会 第30回会員総会	昭和63年6/18 昭和63年6/19	御茶の水聚楽 御茶の水聚楽	92人 60人	副会長 3人の代行	学校法人昭和薬科大学卒業生評議員 会長宮城雅晴死去に伴い補欠候補者選考と選出し、横須賀政壽を推薦する 63年3月会員名簿第9版5500部発行 世田谷校舎での最後の昭葉祭に20万円 同窓会より贈る
第12回代議員会 第31回会員総会	平成元年6/17	御茶の水 ホテル聚楽 大学(世田谷)	72人	藤本 琢憲 (会長代行)	新キャンパス見学会 63年4/14町田キャンパス起工式 大学60周年記念事業寄付金募集 学校法人昭和薬科大学募金準備委員会 委員に同窓会より参加 特別会計の内5000万円を同窓会館建築 資金として60周年に寄付 12/19宮澤一成無投票当選で会長に就任 64年1/7昭和より平成に
第13回臨時 代議員会	平成2年4/15	大学講義室	85人	宮澤 一成	評議員選出される 4/13講演会、4/14 60周年記念式典 4/15代議員会、祝賀会
第14回代議員会	平成2年6/16	大学講義室	76人	宮澤 一成	新役員決まる

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
第32回会員総会	平成2年6/17	昭薬会館5F 会議室		宮澤 一成	昭薬同窓会創立30周年 記念功労者表彰式32名表彰 第1回卒業後教育6/17 第2回卒業後教育11/3
第15回代議員会 第33回会員総会	平成3年6/15 平成3年6/16	大学第9教室	76人	宮澤 一成	3年3月会員名簿10版発行4500部 理事・代議員の公務障害保険加入 6/16、11/3 同窓会功労者表彰
第16回代議員会 第34回会員総会	平成4年6/20 平成4年6/21	大学第3教室 昭薬会館5F 会議室	77人	宮澤 一成	会則改正 代議員会の成立の条件は連続2回欠席 の場合は総数に含めない 第3回卒業後講座6/21、第4回卒業後講 座11/3
第17回臨時 代議員会	平成4年4/18	大学	73人	宮澤 一成	無投票当選で宮澤一成会長に当選
第18回代議員会 第35回会員総会	平成5年6/19 平成5年6/20	大学2番教室 昭薬会館5F 会議室	76人	宮澤 一成	平成5年度より会費3000円 平成5年12/11在校生を対象とした 第1回就職説明会の開催、講師として 中村賢一、綿貫謙次、永井昇、測上信 也、村上強二、野崎芳雄（大学3年生 対象） 卒業後講座6/20、11/3
第19回代議員会 第36回会員総会	平成6年6/18 平成6年6/19	大学2番教室 昭薬会館5F 会議室	92人	宮澤 一成	熊本支部結成（49支部となる） 新入生入会金40,000円に。 6年3月会員名簿第11版発行5500部 広告収入1,124,738円 支部助成金を会費納入者にのみ、200円 助成することに決まる。 6年3/10博士誕生第1号神戸敏江に 記念品贈呈 卒業後講座より昭和薬科大学公開教育 講座に発展（第9回） 会則改正（卒業生評議員候補者選出）
第20回代議員会 第37回会員総会	平成7年6/17 平成7年6/18	大学2番教室 大学2番教室	88人	宮澤 一成	阪神大震災（平成7年1/17）に対して各 支部に見舞金の募集を行い、1,068,013円 集まり、被害状況に応じて分配 11/3 昭薬祭で抽選会を実施 7年10/14「母校のあゆみ」発行

回数	開催日	場所	出席人数	会長名	備考
第21回臨時 代議員会	平成8年4/14	大学2番教室	104人	宮澤 一成	会長選挙結果無投票当選で宮澤一成に決まる。卒業生評議員候補者選挙で決まる
第22回代議員会 第38回会員総会	平成8年6/15 平成8年6/16	大学2番教室 大学2番教室	78人	宮澤 一成	会員名簿追補版3500分発行 11/3昭葉祭に同窓会賞を設け、学術部、スポーツ部に楯と副賞を贈る 会則一部改正 会長及び評議員候補者の推薦人の人数改正 将来計画検討委員会で、同窓会活性化等について検討
第23回代議員会 第39回会員総会	平成9年6/14 平成9年6/15	大学2番教室	85人	宮澤 一成	昭葉同窓会ロゴマーク決まる 平成9年3/22日本薬学会117年会サテライトワークショップ町田市民ホールにおいて開催 9年10/26第30回日本薬剤師学術大会において初めて発表(ポスターセッション、東京において)
第24回代議員会 第40回会員総会	平成10年6/20 平成10年6/21	大学2番教室	91人	宮澤 一成	10月会員名簿発行職業別索引をつける 3000部発行し、会費完納者2,000円、未納者10,000円とし有料化する 新コンピューター導入、インターネット開設準備。Eメールのアドレス決まる 10年2/15第1回ワークショップ開催
第25回臨時 代議員会	平成11年4/11	大学2番教室	112人	木嶋 敬二	臨時及び定時代議員を同日開催する 木嶋敬二無投票当選で会長就任 卒業生評議員決まる
第26回代議員会 第41回会員総会	平成11年4/11 平成11年6/20	大学2番教室 大学食堂りんどう	112人	木嶋 敬二	平成12年度より会費の郵便局及び銀行口座よりの自動引落とし開始。引落とし促進のためのキャンペーン期間を設け、その間の申込者には残高の免除を行う
第27回代議員会 第42回会員総会	平成12年6/17 平成12年6/18	大学第2番教室 大学食堂すずらん	80人	木嶋 敬二	代議員会終了後評議員会、支部報告を行う(北海道南、福島、宮崎) 会費の自動引落とし申込者500人 12年10/14大学70周年・同窓会40周年記念事業を大学と同窓会共催で実行委員会形式で実施 40周年を記念して「昭葉同窓会のあゆみ」発行 平成11年度会費完納者に記念品を贈る(ミニハンドタオル、絵はがき)

昭薬同窓会役員名簿

昭和35年～54年の間は会員名簿を参考にして
可能な限り資料を収集しました。

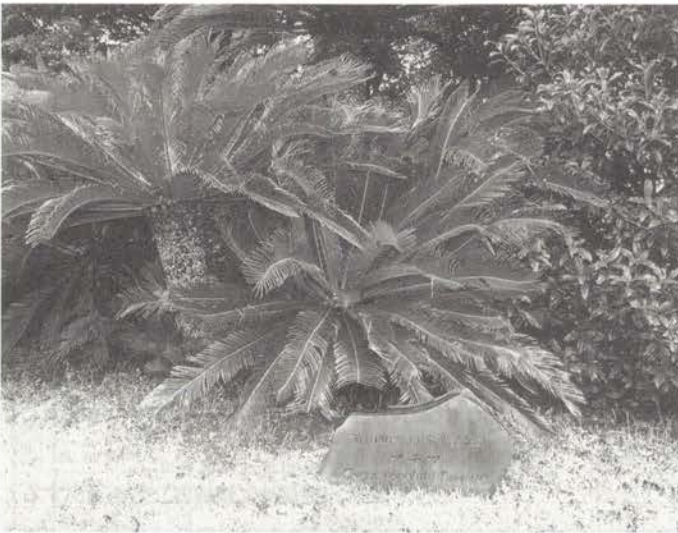
	顧問	会長	副会長	常任幹事及び理事								会計	会計監査
昭和35年	新海 うつの Y-1	松永 田鶴江 S-12	渡辺 タカ S-6	松田 芳 S-1	鶴見 千代子 S-6	木村 クニ子 S-11	齊藤 俊子 S-18	寺島 ナエ子 S-6					
	時枝 次子 Y-2		丸山 英雄 D-1	松岡 充子 S-11	藤井 英子 S-13	松浦 謙 D-2	福重 基彦 D-4	柳崎 松野 S-12					
	影山 とよ S-1		藤原 隆 D-2	田中 三夫 D-2	鷹野 文男 D-3	金沢 輝栄 D-5							
			細田 民夫 D-4	飯田 好一 D-5									
昭和43年	影山 とよ S-1	渡辺 タカ	伊東 瑞枝子 S-2	寺島 ナエ子 S-6	木村 クニ子 S-11	松永 田鶴江 S-12	齊藤 俊子 S-18	佐貫 房子 S-16					
	新海 うつの Y-1		藤井 英子 S-13	大平 やす S-14	大野 昌子 S-17	五十畑 悦子 S-19	福重 基彦 D-4	細田 民夫 D-4					
	時枝 次子 Y-2		丸山 英雄 D-1	金沢 輝栄 D-5	高井 信治 D-7	中野 秀康 D-7							
	田中 リン子		藤原 隆 D-2	堀江 栄一 D-8	石里 喜代子 D-10								
昭和46年	新海 うつの Y-1	藤井 英子 S-13	伊東 瑞枝子 S-2	羽田 清子 S-10	永井 育三 D-3	高井 信治 D-7	根津 とよ子 S-11	呉 明子 S-16					
	時枝 次子 Y-2		大野 昌子 S-17	鈴木 充子 S-19	牛山 邦明 D-4	堀江 栄一 D-8	八島 喜代子 D-10	細田 民夫 D-4					
	影山 とよ S-1		丸山 英雄 D-1	五十畑 悦子 S-19	金沢 輝栄 D-5	伊藤 毅 D-8							
	田中 リン子 S-1		藤原 隆 D-2	斎藤 恵美子 S-19	中野 秀泰 D-7	伊藤 文雄 D-9							
	松田 芳 S-1												
	渡辺 タカ S-6												
昭和47年		丸山 英雄 D-1	大野 昌子 S-17	五十畑 悦子 S-11	斎藤 恵美子 S-21	牧山 明子 D-1	羽田 清子(会館) S-10	植田 和江 S-16					
			藤原 隆 D-2	田中 龍夫 D-2	林 秀美 D-2	新井 武利 D-5	根津 とよ子 S-11	細田 民夫 D-4					
			永井 育三 D-3	高井 信治 D-7	中野 秀泰 D-7	堀江 栄一 D-8							
			金沢 輝栄 D-5	林 聖宝 D-9	八島 喜代子 D-10	飯尾 利弘 D-11							
昭和49年	渡辺 タカ S-6	藤原 隆 D-2	大野 昌子 S-17	鈴木 充子 S-19	林 秀美 D-2	堀江 栄一 D-8	根津 とよ子 S-11	植田 和江 S-16					
	松永 田鶴江 S-12		永田 育三 D-3	五十畑 悦子 S-19	新井 武利 D-5	林 聖宝 D-9	田中 龍夫 D-2	細田 民夫 D-4					
	藤井 英子 S-13		金沢 輝栄 D-5	斎藤 恵美子 S-21	高井 信治 D-7	八島 喜代子 D-10							
昭和50年		金沢 輝栄 D-5	大野 昌子 S-17	齊藤 俊子 S-18	五十畑 悦子 S-19	藤原 隆 D-2	根津 とよ子 S-11	植田 和江 S-16					
			鈴木 充子 S-19	藤本 琢恵 D-3	飯田 好一 D-5	伊藤 健次 D-8	呉 明子(会館) S-16	松岡 充子 S-11					
			高井 信治 D-7	林 聖宝 D-9	飯尾 利弘 D-11	荒井 洋子 D-13	斎藤 恵美子(会館) S-21						
			堀江 栄一 D-8	水谷 雅信 D-16									
昭和52年		金沢 輝栄 D-5	鈴木 充子 S-19	五十畑 悦子 S-19	大貫 晴子 S-20	藤田 二郎 D-2	根津 とよ子 S-11						
		小沢博(代行)	飯田 好一 D-5	藤原 隆 D-2	林 秀美 D-2	小沢 博 D-1	荒井 洋子 D-13						
			高井 信治 D-7	藤本 琢恵 D-3	宮城 雅晴 D-3	青島 慧 D-4	呉 明子(会館) S-16						
			堀江 栄一 D-8	志賀 公榮 D-5	伊藤 健次 D-8	林 聖宝 D-9	斎藤 恵美子(会館) S-21						
				飯尾 利弘 D-11	笠間 俊男 D-14	松永康男 D-20							
昭和54年	渡辺 タカ S-6	根津 とよ子 S-11	松岡 充子 S-11	伊藤 瑞枝子 S-2	呉 明子 S-16	植松 辰子 S-17	大貫 晴子 S-21	植田 和江 S-16					
	松永 田鶴江 S-12		藤原 隆 D-2	大倉 寿美枝 S-17	斎藤 恵美子 S-21	吉沢 一太 D-1	村瀬 雅之 D-18	羽田 清子 S-11					
	藤井 英子 S-13		宮城 雅晴 D-3	遠藤 宗二 D-2	藤本 琢恵 D-3	堀川 由利子 D-4							
	丸山 英雄 D-1		青島 慧 D-4	志賀 公榮 D-5	宮澤 一成 D-5	水嶋 敬二 D-6							
	金沢 輝栄 D-5			高井 信治 D-7	堀島 憲治 D-8	古川 亮 D-9							
昭和57年	渡辺 タカ S-6	根津 とよ子 S-11	清水 敦子 S-10	千葉 定子 S-9	渡部 純子 S-15	呉 明子 S-15	加島 慶子 S-20	羽田 清子 S-10					
	松永 田鶴江 S-12		藤原 隆 D-2	五十畑 悦子 S-19	岸川 久美子 S-20	吉沢 一太 D-1	本田 智香子 D-18	丸山 英雄 D-1					
	藤井 英子 S-13		遠藤 宗二 D-2	藤本 琢恵 D-3	堀川 由利子 D-4	宮澤 一成 D-5							
	丸山 英雄 D-1		宮城 雅晴 D-3	水嶋 敬二 D-6	青木 智史郎 D-6	堀島 憲治 D-8							
	金沢 輝栄 D-13			竹内 直樹 D-11	清野 洋子 D-16								

	顧問	会長	副会長	常任幹事及び理事							会計	会計監査
昭和60年	渡辺タカ S-6	根津とよ子 S-11	渡部純子 S-15	千葉定子 S-9	清水敦子 S-10	呉明子 S-15	加島慶子 S-20	植松辰子 S-10				
	松永田鶴江 S-12		藤原隆 D-2	岸川久美子 S-20	藤本球恵 D-3	堀川由利子 D-4	本田智香子 D-18	丸山英雄 D-1				
	藤井英子 S-13		宮城雅晴 D-3	大森英昭 D-6	青木智史郎 D-6	木嶋敬二 D-6						
	丸山英雄 D-1		宮澤一成 D-5	根本伸二 D-8	塩島憲治 D-8	竹内直樹 D-11						
	金沢輝栄 D-5			大島孝 D-7	横須賀政壽 D-9							
	松田芳樹(相談役) S-1											
	小沢博(相談役) D-1											
	遠藤宗二(相談役) D-2											
昭和63年	渡辺タカ S-6	宮城雅晴 D-3	渡部純子 S-15	呉明子 S-16	加島慶子 S-20	藤本球恵 D-3	千葉定子 S-9	植松辰子 S-17				
	松永田鶴江 S-12	藤本球恵(代行)	岸川久美子 S-20	堀川由利子 D-4	大森英昭 D-6	青木智史郎 D-6	本田智香子 D-18	丸山英雄 D-1				
	根津とよ子 S-11		藤原隆 D-2	木嶋敬二 D-6	大島孝 D-7	根本伸二 D-8						
	藤井英子 S-13		宮澤一成 D-5	塩島憲治 D-8	横須賀政壽 D-9	竹内直樹 D-11						
	丸山英雄 D-1			小泉善保 D-11	小野寺敏 D-24							
	小沢博(相談役) D-1											
	遠藤宗二(相談役) D-2											
平成2年	渡辺タカ S-6	宮澤一成 D-5	呉明子 S-16	藤本球恵 D-3	渡部純子 S-15	内田弘子 S-16	千葉定子 S-9	田中淳業 D-1				
	根津とよ子 S-11		青木智史郎 D-6	堀川由利子 D-4	飯田好一 D-5	塩島憲治 D-8	本田智香子 D-18	丸山英雄 S-11				
	松永田鶴江 S-12		木嶋敬二 D-6	村山栄 D-9	横須賀政壽 D-9	野瀬弘美 D-13						
	藤井英子 S-13		根本伸二 D-8	野崎芳雄 D-17	比留間美彦 D-18	橋本潤二 D-22						
	小沢博 D-1			小野寺敏 D-24	堀江秀明 D-27	内田智信 D-28						
	丸山英雄 D-1											
	藤原隆 D-2											
	藤本球恵 D-3											
	金沢輝栄 D-5											
	森下昌彦(相談役) D-3											
堀江栄一(相談役) D-8												
平成5年	渡辺タカ S-6	宮澤一成 D-5	呉明子 S-16	千葉定子 S-9	村上純子 D-18	蔵田陽子 D-18	内田弘子 S-16	丸山英雄 D-1				
	根津とよ子 S-11		木嶋敬二 D-6	藤本球恵 D-4	岩本節子 S-13	渡部純子 S-15	伊藤美紀子 D-11	伊藤毅 D-8				
	松永田鶴江 S-12		根本伸二 D-8	堀川由利子 D-9	青木智史郎 D-6	塩島憲治 D-8						
	藤井英子 S-13			横須賀政壽 D-22	野瀬弘美 D-13	野崎芳雄 D-17						
	小沢博 D-1			橋本潤二 D-18	小野寺敏 D-24	本田智香子 D-18						
	丸山英雄 D-1			内田智信 D-28								
	藤原隆 D-2											
	藤本球恵 D-3											
	金沢輝栄 D-5											
	森下昌彦(相談役) D-3											
堀江栄一(相談役) D-8												
平成8年	渡辺タカ S-6	宮澤一成 D-5	木嶋敬二 D-6	渡部純子 S-15	柴崎勲平 D-2	青木智史郎 D-6	伊藤美紀子 D-11	根津とよ子 S-11				
	根津とよ子 S-11		藤本球恵 D-3	伊藤毅 D-8	荻田美智子 D-9	高取亨 D-14	村上純子 D-18	張光根 D-19				
	松永田鶴江 S-12		堀川由利子 D-4	野崎芳雄 D-17	増田和夫 D-20	橋本潤二 D-22						
	藤井英子 S-13		横須賀政壽 D-9	田口恭治 D-22	濱島肇 D-23	内田智信 D-28						
	小沢博 D-1		野瀬弘美 D-13	木下泰男 D-24								
	丸山英雄 D-1											
	藤原隆 D-2											
	藤本球恵 D-3											
	金沢輝栄 D-5											
	森下昌彦(相談役) D-3											
堀江栄一(相談役) D-8												

顧問	会長	副会長	常任幹事及び理事				会計	会計監査
渡辺タカ S-6	木嶋敬二 D-6	根本伸二 D-8	磯崎貞夫 D-7	伊藤 毅 D-8	横須賀 政壽 D-9	村上 純子 D-18	根津 とよ子 S-11	
根津 とよ子 S-11		野瀬弘美 D-13	前田洋之 D-9	野崎芳雄 D-17	石川 知代子 D-20	木下 泰男 D-24	張 光根 D-19	
松永 田鶴江 S-12		高取 亨 D-14	大林宗子 D-20	増田 和夫 D-20	田口 恭治 D-22			
藤井 英子 S-13			濱島 肇 D-23	内田 智信 D-28	池野 聡一 D-38			
小沢 博 D-1			内田 業穂子 D-40					
丸山 英雄 D-1								
藤原 隆 D-2								
藤本 琢恵 D-3								
金沢 輝栄 D-5								
森下 昌彦 D-3								
堀江 幸一(相談役) D-8								

卒業生の記念樹一覧

贈柱名	植物名	科名	植栽場所
新海うつの(Y-1)記念樹	ヤマモモ	ヤマモモ科	緑地右側
専門第19回卒業記念樹	キンモクセイ	モクレン科	緑地左側
大学第11回卒業記念樹	ソテツ	ソテツ科	緑地右側
大学第12回卒業記念樹	モチノキ	モチノキ科	緑地左側
大学第13回卒業記念樹	ソテツ	ソテツ科	緑地右側
大学第16回卒業記念樹	キャラボク	イチイ科	緑地左側
大学第20回卒業記念樹	ヒマラヤスギ	マツ科	実習棟東側
大学第34回卒業記念樹	クロガネモチ	モチノキ科	緑地左側
大学第41回卒業記念樹	ブンゴウメ	バラ科	緑地左側
大学第44回卒業記念樹	アカメガシワ	トウダイグサ科	緑地左側
大学第47回卒業記念樹	コノテガシワ	ヒノキ科	緑地左側
大学第48回卒業記念樹	ゴールドライター	ヒノキ科	緑地左側



第13回卒業記念樹ソテツ

卒業生の記念樹紹介

正門から本館へ向かう左右の緑地に記念樹が16ヶ所に繁っている。その中で卒業記念樹は表のように、12を数えている。本学へお越しの際は、ぜひその成長ぶりをご覧ください。

卒業生評議員名簿

年	氏 名	年	氏 名
昭和36年	新海うつのY-1 田中 リンS-1 影山 とよS-1	昭和59年	根津とよ子S-11 新海うつのY-1 松岡 充子S-11
	赤堀 綾子S-1 松永田鶴江S-12 田中 靖子S-19		呉 明子S-16 松浦 章D-2 柿市 高重D-3
	荒野 久雄D-1		森下 昌彦D-3 永井 昇D-5 木嶋 敬二D-5
昭和43年	新海うつのY-1 田中 リンS-1 影山 とよS-1	昭和62年	新海うつのY-1 根津とよ子S-11 岩本 節子S-13
	赤堀 綾子S-1 松永田鶴江S-12 田中 靖子S-19		小沢 博D-1 松浦 章D-2 藤原 隆D-1
	荒野 久雄D-1 関根 徳道D-3		森下 昌彦D-3 永井 昇D-5 宮城 雅晴D-3
昭和46年	新海うつのY-1 田中 リンS-1 影山 とよS-1	平成2年	宮澤 一成D-5 岩本 節子S-13 松林 昭春D-5
	赤堀 綾子S-1 松永田鶴江S-12 田中 靖子S-19		渡部 純子S-15 伊藤 毅D-8 松浦 章D-2
	大草 源三D-2		横須賀政壽D-9 佐藤巳代吉D-4 松永 康男D-20
昭和49年	渡辺 タカS-6 田中 美代S-11 伊志嶺祥恵S-17	平成5年	渡部 純子S-15 丸山 英雄D-1 零田 幸男D-3
	早瀬 典治D-2 寺島 道哉D-4 前田 光康D-5		宮澤 一成D-5 松林 昭春D-5 青木智史郎D-6
	中村 優D-9 小松 栄富D-19		庄野 文茂D-6 伊藤 毅D-8 松永 康男D-20
昭和54年	高橋 澄子S-6 根津とよ子S-11 田中 美代S-11	平成8年	田中 三夫D-2 宮澤 一成D-5 山田 素子D-5
	外池 くにS-8 林 良子S-12 大野 昌子S-17		木嶋 敬二D-6 青木智史郎D-6 根本 伸二D-8
	永井 昇D-5 北村 武彦D-7 田中 リンS-1		羽田とし子D-18 張 光根D-19 稲田 良彦D-15
昭和56年	新海うつのY-1 根津とよ子S-11 松岡 充子S-11	平成11年	田中 三夫D-2 木嶋 敬二D-6 根本 伸二D-8
	林 良子S-12 呉 明子S-16 松浦 章D-2		伊藤 健次D-8 綿貫 譲次D-11 山本 剛D-12
	柿市 高重D-3 森下 昌彦D-3 永井 昇D-5		稲田 良彦D-15 羽田とし子D-18 張 光根D-19

学校法人昭葉科大学寄付行為、 同施行細則より一部抜粋

第4章 評議員会及び評議員

(評議員会)

第20条 この法人に評議員会を置く。

2. 評議員会は27人の評議員をもって組織する。
3. 評議員会は理事長が召集する。

(評議員会の意見具申等)

第24条 評議員会は、この法人の業務若くは財産の状況又は役員の仕事執行の状況について、役員に対して意見を述べ、若くはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができる。

(評議員の選任)

第25条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学長
- (2) この法人の職員で互選した者のうちから理事会において選任した者10人
- (3) この法人の設置する学校(この法人の前身者が設置した日本女子薬学校、昭和女子薬学校、昭和女子薬学専門学校を含む。)を卒業し年齢25年以上の者で同窓会が推薦した者のうちから理事会において選任した者9人
- (4) 学識経験者のうちから理事会において選任した者7人

会則施行細則より 第5章 卒業生評議員候補者選出の条文

- 第8条 この会の会長は卒業生評議員候補者となる。
2. この会の正会員で次に定める資格を有するものは卒業生評議員候補者として立候補する。
 - 1) 日本国内に在住し、満25才以上で、過去10年以上会費納入実績を有する大学の教職員以外の者(但し、当年より6年間は毎年継続して会費を納入している者。卒業後10年に満たない者は、卒業後連続して会費を納入している者)。
 - 2) 5人以上の推薦人(会費完納者、但し一括完納を含む)のある者。
- 第9条 卒業生評議員候補者立候補の届け出は、公示に則り、選挙管理委員会に届け出なければならない。
2. 卒業生評議員候補者希望者が、公示による締切日に関わらず11名未満の場合は再公示する。
- 第10条 代議員は卒業生評議員候補者選出の選挙人となる。
- 第11条 卒業生評議員候補者は9名とする。
2. 卒業生評議員補欠候補者2名を選出することができる。
- 第12条 選挙管理委員会の管理、運営のもとに代議員による上限当選数以内の連記無記名投票による。

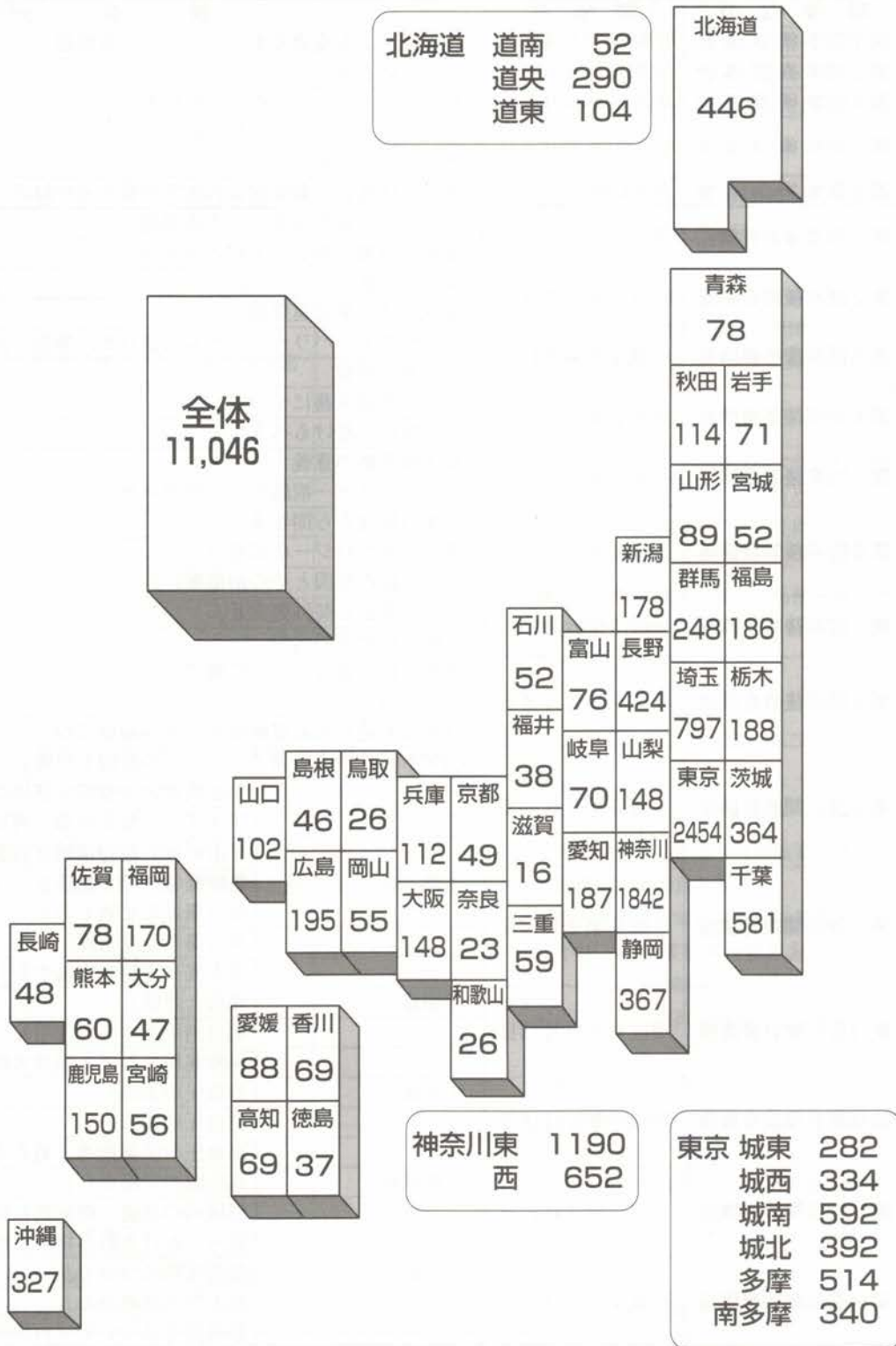
会報発行の歴史

発行号	発行日	発行号	発行日	発行号	発行日
創刊号	昭和35.7.1	28	49.12.10	54	63.2.1
2	36.4.1	29	50.11.10	55	63.9.1
3	36.6.25	30	51.11.30	56	平成1.2.1
4	36.11.10	31	52.1.31	57	1.10.1
5	37.6.10	32	52.8.15	58	西暦表示1990.2.1
6	37.12.1	33	53.1.25	59	1990.9.1 カラー表紙
7	38.8.1	34	53.5.25	60	1991.2.1
8	38.12.1	35	53.7.31	61	1991.9.15
9	39.9.1	36	54.1.1	62	1992.2.1
10	40.3.1	37	54.8.1	63	1992.9.20
11	40.9.1	38	55.1.1	64	1993.1.20
12	41.4.1	39	55.8.1	65	1993.10.1
13	41.10.10	40	56.1.15	66	1994.1.20
14	42.3.10	41	56.10.1	67	1994.9.1
15	42.9.1	42	57.1.1	68	1995.2.1
16	43.2.10	43	57.8.1	69	1995.10.1
17	43.9.1	44	58.2.1	母校のあゆみ	1995.10.14
18	44.3.25	45	58.2.1	70	1996.2.15
19	44.12.25	46	59.2.1	71	1996.10.1
20	45.5.10	47	59.9.1	72	1997.2.10
21	45.12.10	48	60.1.1	73	1997.10.1
22	46.5.10	49	60.9.1	74	1998.2.1
23	46.12.1	50	61.4.1	75	1998.9.10
24	47.3.18	51	61.9.16	76	1999.2.1
25	47.10.1	52	62.2.7	77	1999.9.1
26	48.3.10	53	62.9.1	78	2000.2.1
27	48.12.10	特別号	62.9.1	79	2000.10.1

昭葉同窓会支部の歴史 (現在は52支部)

支部番号	支部名	発足年月日	備考	支部番号	支部名	発足年月日	備考
1	北海道 道南	平成4年5月	北海道支部より分離	28	長野	昭和41年11月	
2	北海道 道央	昭和36年7月	北海道支部より	29	岐阜	昭和55年10月	
3	北海道 道東	平成4年11月	北海道支部より分離	30	静岡	昭和37年10月	
4	青森	昭和43年9月	みちのく支部	31	愛知	昭和34年5月	東海支部より
5	秋田	昭和44年11月		32	三重	昭和55年8月	
6	岩手	昭和43年11月		33	京都	昭和56年2月	近畿支部より分離
7	山形	昭和60年9月		34	近畿(大原、兵庫、和歌山、滋賀)	昭和37年	関西支部より(昭和35年4月)
8	宮城	昭和41年10月		35	鳥取	昭和61年1月	
9	福島	昭和38年6月		36	島根	平成3年10月	
10	茨城	昭和43年9月		37	岡山	昭和62年11月	
11	栃木	昭和45年11月		38	広島	昭和34年7月	
12	群馬	昭和36年1月		39	山口	昭和55年9月	
13	埼玉	昭和54年11月		40	香川	平成10年	香川、徳島より分離
14	千葉	昭和55年1月		41	徳島	平成10年	香川、徳島より分離
15	神奈川 東	昭和37年8月	神奈川支部より	42	愛媛	平成5年6月	
16	神奈川 西	平成5年3月	神奈川支部より分離	43	高知	平成5年7月	
17	東京 城東	昭和42年2月		44	福岡	昭和40年	九州支部より分離
18	東京 城西	昭和37年11月		45	佐賀	平成11年2月	
19	東京 城南	昭和37年11月		46	大分	昭和55年9月	
20	東京 城北	昭和42年2月		47	熊本	平成7年3月	三州支部より分離
21	東京 多摩	平成5年11月		48	長崎	平成4年4月	
22	東京 南多摩	平成7年5月	多摩支部より分離	49	宮崎	平成4年5月	三州支部より分離
23	新潟	昭和54年12月		50	鹿児島	平成7年9月	三州支部より分離
24	富山	昭和55年11月		51	沖縄	昭和43年	
25	石川	昭和38年	北陸支部	52	学内	昭和52年11月	
26	福井	昭和58年11月		53	台湾支部	昭和43年	現在は存在していない
27	山梨	昭和51年8月					

都道府県別会員数(住所確定者) 平成12年2月現在



学術講演会・卒後教育講座・公開教育講座一覧表

開催回数	開催日	講演テーマ
第1回学術講演会	昭和58年5月15日	化粧品による皮膚障害とステロイド皮膚症
第2回学術講演会	昭和59年5月21日	がん予防と食生活
第3回学術講演会	昭和60年5月20日	最近のコルチコステロイド外用療法
第4回学術講演会	昭和61年6月8日	バイオテクノロジーと医薬品 癌の化学療法剤
第5回学術講演会	昭和62年6月21日	最近の化粧品・健康食品の危害情報とその対応
第1回卒後教育講座	平成2年6月17日	これからの薬剤師をめぐる諸問題 健康と栄養（病気の予防と食生活）
第2回卒後教育講座	平成2年11月3日	薬草と毒草 地域医療と開局薬剤師
第3回卒後教育講座	平成3年6月16日	ドラッグデリバリーシステム（DDS）製剤の進歩 漢方薬の特徴
第4回卒後教育講座	平成3年11月3日	臨床薬剤師業務について 薬剤師が心掛けるべきこと
第5回卒後教育講座	平成4年6月21日	臨床検査値の意義 アルツハイマー病脳のプロテアーゼ
第6回卒後教育講座	平成4年11月3日	医薬の研究から開発まで 最近のエコロジーの問題点 高血圧症の原因とその治療薬
第7回卒後教育講座	平成5年6月20日	医療法改正と院外処方せん 肝疾患の最近の治療
第8回卒後教育講座	平成5年11月3日	調剤薬局と処方せんの応需について
第9回公開教育講座	平成6年6月19日	日常よく見られる皮膚疾患とその治療について ①アトピー性皮膚炎「アトピーの成因と対策」 「免疫異常と治療薬－薬物によるアレルギー反 「アトピーの服薬指導－開局薬剤師の立場から」 「アトピーの薬物情報と服薬指導－病院薬剤師
第10回公開教育講座	平成6年9月17日	②漢方薬 「免疫異常の漢方療法」 「漢方薬はなぜ効くのか」 「漢方薬の免疫薬理」 「漢方薬－現場の立場から」
第11回公開教育講座	平成6年11月13日	③喘息 「成因と対策」 「喘息治療薬の薬理作用」 「保険薬局における喘息治療薬の服薬指導」
第12回公開教育講座	平成7年6月18日	①高血圧 「高血圧の基礎」 「高血圧の臨床」 「高血圧の服薬指導：処方箋応需の薬局対応」
第13回公開教育講座	平成7年9月10日	②糖尿病 「臨床医の立場から」 「糖尿病の基礎：糖尿病の病態と治療」 「院内における服薬指導：糖尿病患者における
第14回公開教育講座	平成7年11月19日	③心臓病 「基礎薬理について」 「臨床医の立場から」 「服薬指導について（西洋学、漢方薬の実際）」

昭薬同窓会の卒後教育講座の歴史は、昭和58年5月から学術講演会という名称で始まり、昭和62年までに5回を実施しました。その後平成2年からは、会員総会時の6月と昭薬祭開催時の11月、年2回開催して平成6年まで4年間で8回を行いました。平成6年に財団法人昭薬同窓会から「研修認定薬剤師制度」の実施の提唱があり、これを機に薬剤師の自己研鑽に励む動機づけが盛り上がり、大学と同窓会の協働体制の取り組みで名称を昭薬科大学公開教育講座として年3回を実施して今年で通算して27回を数えています。

	演者の所属名及び氏名・()内は本学卒業生	
	中山 秀夫	済生会中央病院・皮膚科・医長
	河内 卓	所沢保険所・所長・医学博士(中央薬事審議会・食品衛生調査委員)
	石原 勝	東邦大学医学部・皮膚科・教授
	木村 栄之介	武田科学振興会・理事長
	坂口 武一	千葉大学医学部・名誉教授
	大柿 好春	国民生活センター・相談・危害情報部長
	井上 哲男	日本薬剤師会・副会長
	辻 悦子 (D-10)	国立健康・栄養研究所・室長(臨床栄養指導研究室)
	田中 孝治	昭薬科大学・植物園長
	堀江 栄一 (D-8)	日本薬剤師会・理事(東京都薬剤師会常務理事)
	渡辺 善照	昭薬科大学・薬剤学研究室・講師
	丁 宗鉄	北里研究所所属東洋医学総合研究所・診療医長
	永井 昇 (D-5)	東京厚生年金病院・薬剤部長
	村山 芳朗	学校法人昭薬科大学・顧問弁護士
	松林 昭春 (D-5)	前県立広島病院・薬剤部長
	青柳 高明	昭薬科大学・衛生化学研究室・教授
	村上 圭介	(株)科学技術研究所・取締役会長
	木嶋 敬二 (D-6)	国立衛生試験所・室長
	久保 孝夫	昭薬科大学・薬理学研究室・教授
	下川 正見 (D-7)	国立病院医療センター・薬剤部長
	熊田 博光	虎の門病院・消化器科・部長
	中畔 秀泰 (D-7)	アサヒ調剤薬局・社長
	津山 健 (D-27)	調剤主任
	小澤 明	東海大学医学部・皮膚科・助教授
	池澤 善郎	横浜私立大学医学部皮膚科学・助教授
心の制御」	江田 昭英	岐阜薬科大学薬理学・名誉教授
	野崎 芳雄 (D-17)	野崎調剤薬局・薬局長
の立場から」	望月 真弓	北里大学病院薬剤部医薬品情報センター・係長
	大野 修嗣	埼玉医科大学病態科学・教授
	田代 真一	昭薬科大学病態科学・教授
	小松 靖弘	(株)ツムラ中央研究所・漢方薬理研究部長
	張 光根 (D-19)	(医法) 社団善山会天心堂診療所・常務理事
	中島 重徳	近畿大学医学部第四内科・教授
	宮田 健	熊本大学薬学部薬物活性・教授
	柴崎 勲平 (D-2)	神奈川県薬剤師会理事、藤沢市薬剤師会理事
	久保 孝夫	昭薬科大学薬理学・教授
	村松 準	北里大学医学部循環器内科・助教授
	渡辺 睦子 (D-17)	二子薬局溝口店、横浜レディース会・会長
	加藤 光敏	東京慈恵会医科大学付属青戸病院内科・講師
	田代 真一	昭薬科大学病態科学・教授
長薬指導」	吉田 稔 (D-6)	前広島大学付属病院薬剤部・副部長
	橋本 敬太郎	山梨医科大学薬理学教室・教授
	木全 心一	東京女子医科大学付属青山病院・院長
	佐藤 巳代吉 (D-4)	佐藤内科医院・院長

開催回数	開催日	講演テーマ
第15回公開教育講座	平成8年6月16日	④骨粗鬆症 「骨の生きた営みー構造と機能ー」
		「骨粗鬆症の病態と治療」
		「骨粗鬆症の治療薬について」
第16回公開教育講座	平成8年9月8日	⑤老人と“うつ” 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第17回公開教育講座	平成8年11月17日	⑥老人性皮膚疾患 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「服薬指導について」
第18回公開教育講座	平成9年6月15日	⑦加齢と免疫低下（癌・感染症を中心に）「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第19回公開教育講座	平成9年9月28日	⑧慢性関節リウマチの治療 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第20回公開教育講座	平成9年11月16日	⑨更年期障害 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第21回公開教育講座	平成10年6月21日	①消化性潰瘍 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第22回公開教育講座	平成10年9月27日	②肝と肝炎 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第23回公開教育講座	平成10年11月15日	③眼科領域 「基礎医学の立場から」 眼科および眼疾患概論
		「臨床医学の立場から」 眼科手術の現状と限界、角膜の
		「臨床薬学の立場から」 点眼薬の使用上の注意を中心と
第24回公開教育講座	平成11年6月20日	④アトピー性皮膚炎 「皮膚科学の立場から」
		「小児科学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第25回公開教育講座	平成11年10月3日	⑤筋肉・関節の痛み 「基礎医学の立場から」
		「臨床医学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第26回公開教育講座	平成11年11月14日	⑥老年期治療の 「臨床医学の立場から」 高齢期における痴呆性
		「基礎医学の立場から」 アルツハイマー病研究
		「臨床薬学の立場から」
第27回公開教育講座	平成12年6月18日	⑦糖尿病 「臨床医学の立場から」
		「基礎医・薬学の立場から」
		「臨床薬学の立場から」
第28回公開教育講座	平成12年9月10日	⑧がん 「基礎医学の立場から」 がんをもたらす遺伝子
		「臨床医学の立場から」 がんの臨床試験と期待
		「臨床薬学の立場から」 がん薬物療法における

	演者の所属名及び氏名・（ ）内は本学卒業生	
	久米川 正 好	明海大学歯学部口腔解剖学・教授
	板 橋 明	埼玉医科大学付属病院中央検査部・教授
	中 尾 正 己 (D-14)	下館市民病院薬剤部・部長、茨城県病院薬剤師会・会長
	野 村 総一郎	国家公務員等共済組合連合会 立川病院神経科・部長
	樋 口 輝 彦	昭和大学医学部藤ヶ丘病院精神神経科・教授
	田 口 恭 治 (D-22)	昭和薬科大学薬物治療学研究室・助教授
	檜 垣 祐 子	東京女子医科大学・講師
	原 田 昭太郎	関東通信病院・副院長・皮膚科部長
	佐 竹 惣 子 (D-11)	町田市民病院・薬局長
	西 村 孝 司	東海大学医学部免疫学教室・助教授
	佐 藤 弘	東京女子医科大学附属東洋医学研究所・副所長
	松 本 宣 明 (D-30)	昭和薬科大学薬剤学研究室・講師
	川 合 眞 一	聖マリアンナ医科大学・助教授
	美 田 誠 二	川崎市立看護短期大学・教授
	工 藤 三恵子 (D-22)	聖マリアンナ医科大学薬剤部
	関 克 義	千葉大学医学部・教授
	飯 塚 貞 男	都立広尾病院産婦人科・部長
	佐 藤 満希子 (D-12)	都立広尾病院・薬剤科長
	高 橋 信 一	杏林大学医学部第三内科・助教授
	川 口 実	東京医科大学第四内科・助教授
	磯 崎 貞 夫 (D-7)	東京通信病院・前薬剤部長
	山 科 正 平	北里大学医学部解剖学教室・教授
	岡 博 子	大阪市立総合医療センター消化器内科・副部長
	三 上 二 郎 (D-24)	国立病院東京医療センター薬剤科・副科長
	野 村 昌 弘	北里研究所病院眼科・部長
アラキドン酸代謝 して	平 形 明 人	杏林大学医学部眼科・助教授
	下 川 正 見 (D-7)	国立国際医療センター・前薬剤部長
	勝 岡 憲 生	北里大学医学部皮膚科学教室・助教授
	野 間 剛	北里大学医学部小児科学教室・助教授
	内 田 智 信 (D-28)	東海大学医学部附属東京病院・薬剤科長
	宇佐見 則 夫	至誠会第二病院・整形外科部長
	早稲田 明 生	医療法人財団荻窪病院整形外科
	坂 井 賢 一 (D-20)	杏林大学医学部付属病院・薬剤部長
疾患診断と治療薬 の進歩	大 塚 貴	岐阜大学医学部高齢医学講座・教授
	宮 武 正	昭和薬科大学薬物治療学研究室・教授
	中 馬 統一郎 (D-29)	東名厚木病院・薬局長
	加 藤 光 敏	加藤内科クリニック
	田 代 眞 一	昭和薬科大学病態科学研究室・教授
	今 泉 真知子 (D-20)	滝野川病院薬剤部部長
異常の蓄積 される新薬	関 谷 剛 男	国立癌センター研究所腫瘍遺伝子研究前部長
薬剤師の役割	島 田 安 博	国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター審査第1部主任審査官
	高 田 一 義 (D-16)	国立がんセンター東病院薬剤部部長

写真で見る40年誌



1963.10.15
世田谷校大講堂における大学35周年記念祭



1967. 5 .21 第9回総会々場

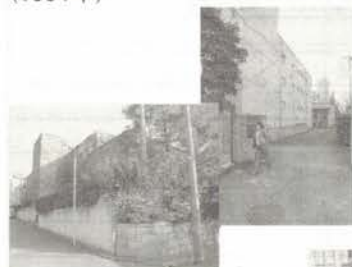


体育館兼講堂落成(1963年)

美しく整備された
世田谷キャンパス
(1964年)



世田谷キャンパス全
景。施設の拡充が順
調に進められた
(1961年)



女子学生のために
新築された弦巻寮
(1972年)

新たに新築され、設備も充
実した誠和寮(1968年)



創立50周年記念。参加者
の多くが感慨無量の面持
ちだった(1979年)



1986.12. 7 移転説明会で挨拶する新海氏



1987. 6 懇親会



1987. 6 .20 代議員会での会長の挨拶



1985. 9 . 1 代議員質疑



1993.12.11 在校生(3年)を対象の就職説明会



大学同窓会共催の第9回昭和薬科大学公開教育講座 1994.6.19



昭和薬科大学創立65周年記念式典・祝賀会の会場風景 1995.10.14



1997.10.26
第30回日本薬剤師学術大会で発表



1999.9.25
公務員試験対策説明会風景



1999.11.3 同窓会テント



1999.11.3 就職相談



2000.6.17 支部代議員席



2000.6.17 クラス代議員席

昭葉同窓会名簿沿革史

発行・年・月・日	発行版	名簿料金	同窓会費
昭和35・11・25	第1版	250円 送料共(申込者)	0
		300円 〃 途中値上	0
昭和39・5・1	第2版	500円 〃	300円
昭和43・3・15	第3版	500円 〃	300円
昭和46・3・31	第4版	500円 〃	300円
昭和47途中	〃	500円 送料 100円	300円
	〃	500円 〃 145円 郵便料値上	300円
昭和50・3・1	第5版	1500円 送料共	昭和50年度 1000円
昭和54・3・1	第6版	無料 大学創立50周年記念として 同窓会費全納者対象	1000円
昭和57・3・1	第7版	〃 〃	昭和56年度 2000円
昭和60・3・1	第8版	〃 〃	2000円
昭和63・4・1	第9版	〃 〃	2000円
平成3・3・1	第10版	〃 〃	2000円
平成6・3・1	第11版	〃 〃	平成5年度 3000円
平成10・10・1	第12版	2000円(同窓会費全納者) 10000円(同窓会費未納者) 専門学校卒業者は無料(同窓会費全納者)	3000円



第12回卒業記念樹 (モチノキ)



第16回卒業記念樹 (キャラボク)

<参考資料>

昭葉同窓会会報 創刊号～第79号
 昭葉同窓会会員名簿 第1版～第12版
 昭葉同窓会代議員会資料 第1回～第27回
 昭葉同窓会代議員会議録

<記念誌編集委員>

委員長 根本 伸二 (副会長) (D-8)
 委員 前田 洋之 (理事) (D-9)
 大林 宗子 (理事) (D-20)
 青木久美子 (事務局) (D-5)
 小林 君江 (事務局) (D-12)
 織田 成江 (事務局)

表紙題字 松永田鶴江 (初代昭葉同窓会会長) (S-12)
 表紙写真と文 根本 伸二 (昭葉同窓会副会長) (D-8)
 特別協力者 木嶋 敬二 (同 会長) (D-6)
 野瀬 弘美 (同 副会長) (D-13)
 高取 亨 (同 副会長) (D-14)
 内田菜穂子 (同 理事) (D-40)

編集後記

○この記念誌は、昭葉同窓会が発足した昭和35年から平成12年9月までの過程を織り込みました。

○この企画が決まってから、発刊期日までの日数が少なく、昭葉同窓会に関係のあった方への聞き取り調査を行う時間がありませんでしたので、関係資料での収集に終始しました。

また、発刊予定の期日までにできるか一時は危ぶまれました。しかし、編集者一同の協力により何とか発刊にこぎつけることができました。内容に不備な点が多々あると存じますがご容赦下さい。また、ご意見等を頂きたく存じます。

○この記念誌作成の関係資料は、昭葉同窓会会報 (創刊号～79号)、昭葉同窓会代議員会資料・議事録 (第1回～第27回)、昭葉同窓会会員名簿 (第1版～第12版) 等を主体に情報収集しました。そして、編集には、記述の内容から関係のある項目を取り出し、分かり

易い表にまとめました。

○卒業記念思い出の記念樹が正門から本館へ向かう左右緑地に沢山植えてありますが写真で紹介しました。また、写真で見る同窓会のあゆみも掲載して、楽しく読んで頂けるように作成いたしました。

○現在、本学の卒業生総数は、14,397人を数えています。世田谷校舎の卒業生数と町田校舎の卒業生数を計算をしてみました。世田谷校舎の卒業生はS-16 (昭和21年卒業)～D-38 (平成2年卒業)までの44年間で、卒業生数は10,078人となり、70%を数えます。さて、町田校舎は平成2年4月に開校しました。その間の卒業生はD-39 (平成3年卒業)～D-48 (平成12年卒業)まで、早くも11年目になり、卒業生数は2,906人となります。そして20%を占める状況になりました。

○この記念誌で、昭葉同窓会の創立当時の諸先輩方の理念と活動の経過が理解され、将来の昭葉同窓会を担う方への継承となり、益々の発展につながることを願っております。

(D-8 根本伸二)



〒194-0042 東京都町田市東玉川学園3丁目3138番

昭葉会館内 昭葉同窓会

昭葉同窓会のあゆみ

発行者 昭葉同窓会

会 長 木嶋 敬二

電話 042-722-5750 FAX 042-721-1295

印 刷 所 トキワ美術印刷有限公司

町田市山崎町1205

電話 042-728-5411